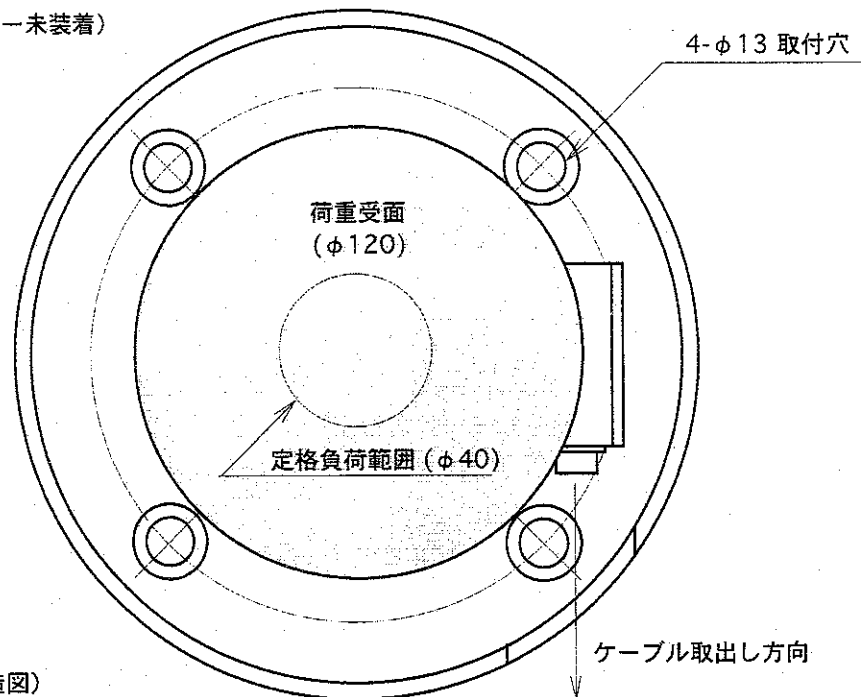


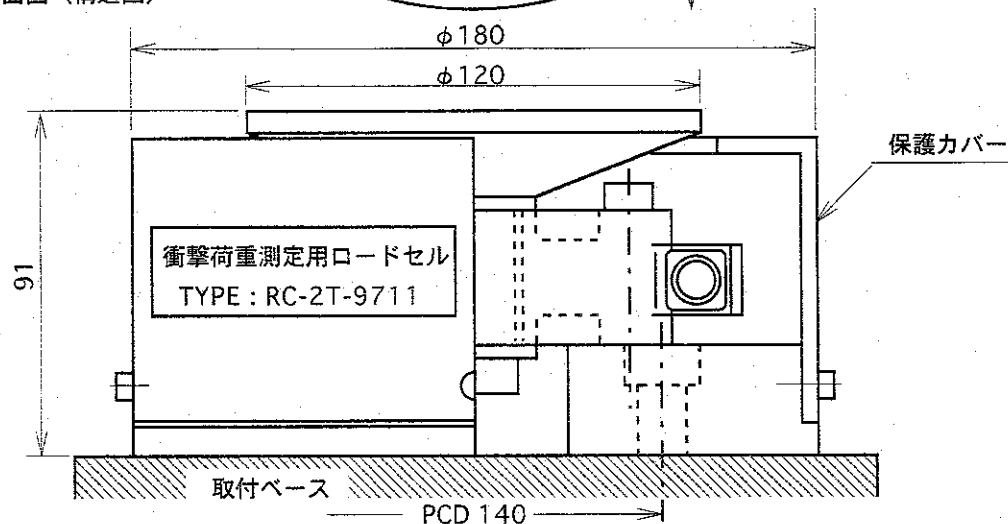


## 緩衝材料評価用／衝撃荷重測定ロードセル

平面図 (カバー未装着)



側面図 (構造図)



### 概要

緩衝材料とは衝突・落下による衝撃荷重のエネルギー吸収性が高い材料のことであり、自動車・機械・住宅・スポーツ等あらゆる我々の生活に密接したところで使用されています。これらの緩衝材の物理的評価は実際に衝撃荷重を加え測定するケースが一般的です。

左図はスポーツ分野における防具用品の安全基準評価用に製作されたロードセルで、荷重受面に防具緩衝材サンプルを置き、鋼球を規定の高さから落下させることにより荷重のピーク・力積・吸収エネルギー値等を求めることも出来ます。

### 用途

- ・スポーツ用具の運動性能評価。
- ・スポーツ防具用品の安全基準評価。
- ・複合フィルムパックの衝撃破袋試験。
- ・各種緩衝材の特性評価など。

### 仕様

1. 定格容量	2 tonf
2. 許容過負荷	150 %
3. 定格出力	1 mV/V $\pm$ 1 %
4. 入出力抵抗	350 $\Omega$ $\pm$ 1%
5. 推奨/許容ブリッジ電圧	10/15 V/AC, DC
6. 直線性	$\pm$ 0.2 %R.0
7. 初期平衡度	$\pm$ 10 %R.0
8. 使用温度範囲	-10 $\sim$ 60 $^{\circ}$ C
9. 零点の温度特性	$\pm$ 0.01 %R.0/ $^{\circ}$ C
10. 出力の温度特性	$\pm$ 0.01 %/ $^{\circ}$ C
11. 固有振動数 (実測値)	4.4kHz
12. 荷重受面	構造用鋼 (焼入処理品)
13. 重量	約5.5kg

※衝撃荷重の計測についてのご質問は当社営業所までお気軽にお問合せ下さい。